

雇用企業主様から



東日本大震災における即応予備自衛官の活動について

(株) トスネット 代表取締役 佐藤 康 廣

トスネットは1977年に設立以来、交通誘導等雑踏警備業務を主体に皆様の「生命・身体・財産」を守ることを使命として今日に至っております。

これまでに、東日本の営業基盤を確立し、積極果敢な事業展開により様々なニーズに応えられるグループ企業へと着実に成長を果たしてきました。

近年、治安情勢の悪化に伴い、セキュリティーに対するお客様のニーズは質・量ともに拡大しております。トスネットグループは、「人材育成」を経営の『要』とし、警備関連の資格者育成とグループシナジーの創出による総合力を発揮することを強みとして、今後も常に質の高いセキュリティーサービスを提供し続けてまいります。

弊社の秋田営業所には88名の社員が在籍しております。その中の3名が即応予備自衛官であり、自衛隊出身者も数多く在籍し活躍しております。警備会社への自衛官の採用は基本動作訓練等がしっかり教育されていることから入社後、即戦力として活躍できており、今後も採用に力を入れていきたいと思っております。また、大震災における自衛官の活躍は誰もが知るところですが、活躍の陰には言葉に表せない大変な苦労があったと思います。秋田営業所からも即応予備自衛官3名が訓練ではなく、被災地に復興支援として勤務したと報告を受けております。被災地の悲惨な状況がメディア等から入ってくるたびに、この世のものとは思えない恐怖を覚えたことを思い出します。しかし、その一方で悲惨な状況よりも人の触れ合い、助け合いが多くの人を勇気付け助けている状況も確認できました。その中心で活動していたのが自衛官の方だと誰もが思っております。

トスネットの即応予備自衛官の社員も悲惨な状況下の中で、勇気ある行動をとり最後まで活動できたことを誇りに思います。それと貴重な経験を体験させていただいたことに感謝いたします。

今後も、この貴重な経験を生かせるよう他の社員へも報告し、社会から信頼される企業を目指したいと思っております。